

- 1 日。
- 2) 宮田直樹、中野達也ら、日本医薬品一般名称データベース。
(<http://moldb.nihs.go.jp/jan/>)
 - 3) 「International Nonproprietary Names: Approaches for INN design - a review」 INN Working Document 05.167。
 - 4) 「医薬品一般名称辞典 1996」、日本公定書協会編 (薬事日報社)
 - 5) 「日本の医薬品構造式集 2006」 日本医薬情報センター。
 - 6) 「我が国における医薬品の一般的名称の変更 (案) に関する意見の募集について」、厚生労働省医薬食品局審査管理課、2006 年 10 月 2 日。

F. 知的所有権の取得状況

なし。

表1 新しいJPname命名法の適用によるJAN変更案: 日本名英名ともに変更する医薬品

No	旧JAN日本名	旧JAN英名	新JAN日本名	新JAN英名	変更理由								
					アミンの塩	第4級アモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	酸のエステル誘導体	水和物	その他			
1	L-アスパラギン酸カルシウム	Calcium L-Aspartate	L-アスパラギン酸カルシウム水和物	Calcium L-Aspartate Hydrate						○			
2	L-グルタミン酸L-アルギニン	L-Arginine L-Glutamate	L-アルギニンL-グルタミン酸塩水和物	L-Arginine L-Glutamate Hydrate	○						○		
3	L-グルタミン酸ナトリウム	Monosodium L-Glutamate Monohydrate	L-グルタミン酸ナトリウム水和物	Sodium L-Glutamate Hydrate							○		
4	L-塩酸メチルシステイン	L-Methylcysteine Hydrochloride	L-メチルシステイン塩酸塩	Methyl L-Cysteine Hydrochloride	○							○	
5	アデノシン三リン酸二ナトリウム	Adenosine 5'-Triphosphate Disodium	アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物	Adenosine Triphosphate Disodium Hydrate							○	○	
6	アルガトロバン	Argatroban	アルガトロバン水和物	Argatroban Hydrate							○		
7	アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネート	Aluminum Chlorohydroxy Allantoinate	アルクロキサ	Alcloxa								○	
8	アルミノパラアミノサリチル酸カルシウム	Aluminoparaaminosalicylate Calcium	アルミノパラアミノサリチル酸カルシウム水和物	Aluminoparaaminosalicylate Calcium Hydrate								○	
9	アンフェナクナトリウム	Amfenac Sodium	アンフェナクナトリウム水和物	Amfenac Sodium Hydrate								○	
10	イソニアジドメタンサルホン酸ナトリウム	Isoniazid Sodium Methanesulfonate	イソニアジドメタンサルホン酸ナトリウム水和物	Isoniazid Sodium Methanesulfonate Hydrate								○	
11	インカドロン酸二ナトリウム	Incadronate Disodium	インカドロン酸二ナトリウム水和物	Incadronate Disodium Hydrate								○	
12	インダパミド	Indapamide	インダパミド水和物	Indapamide Hydrate								○	
13	エカベトナトリウム	Ecabet Sodium	エカベトナトリウム水和物	Ecabet Sodium Hydrate								○	
14	エグアレンナトリウム	Egualen Sodium	エグアレンナトリウム水和物	Egualen Sodium Hydrate								○	
15	エデト酸カルシウム二ナトリウム	Calcium Disodium Edetate	エデト酸カルシウム二ナトリウム水和物	Calcium Disodium Edetate Hydrate								○	
16	グアイアズレンスルホン酸ナトリウム	Sodium Guaiazulene Sulfonate	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	Sodium Gualenate Hydrate								○	○
17	クエン酸モサプリド	Mosapride Citrate	モサプリドクエン酸塩水和物	Mosapride Citrate Hydrate	○							○	
18	グルクロン酸ナトリウム	Sodium Glucuronate	グルクロン酸ナトリウム水和物	Sodium Glucuronate Hydrate								○	
19	グルコン酸カリウム	Potassium Gluconate	グルコン酸カリウム水和物	Potassium Gluconate Hydrate								○	
20	グルタチオン(還元型)	Glutathione(Reduced Type)	グルタチオン	Glutathione								○	
21	シタラビンオクホスファート	Cytarabine Ocfosphate	シタラビン オクホスファート水和物	Cytarabine Ocfosphate Hydrate							○	○	
22	シラザプリル	Cilazapril	シラザプリル水和物	Cilazapril Hydrate								○	
23	タカルシトール	Tacalcitol	タカルシトール水和物	Tacalcitol Hydrate								○	
24	トシル酸トスフロキサシン	Tosufloxacin Tosilate	トスフロキサシントシル酸塩水和物	Tosufloxacin Tosilate Hydrate	○							○	
25	ニトロプルシドナトリウム	Sodium Nitroprusside	ニトロプルシドナトリウム水和物	Sodium Nitroprusside Hydrate								○	
26	パミドロン酸二ナトリウム	Pamidronate Disodium	パミドロン酸二ナトリウム水和物	Pamidronate Disodium Hydrate								○	
27	ホパンテン酸カルシウム	Calcium Hopantenate	ホパンテン酸カルシウム水和物	Calcium Hopantenate Hydrate								○	
28	メシル酸アドレノクロムモノアミノグアニジン	Adrenochrome Monoaminoguanidine Mesilate	アドレノクロムモノアミノグアニジンメシル酸塩水和物	Adrenochrome Monoaminoguanidine Mesilate Hydrate	○							○	

No	旧JAN日本名	旧JAN英名	新JAN日本名	新JAN英名	変更理由					
					アミ ンの 塩	第4 級ア モニ ウム 塩	アル コー ルの エス テル 誘導 体	酸の エス テル 誘導 体	水和 物	その 他
29	リン酸エストラムスチンナトリウム	Estramustine Phosphate Sodium	エストラムスチンリン酸エステルナトリウム水和物	Estramustine Phosphate Sodium Hydrate			○		○	
30	リン酸ピリドキサル	Pyridoxal Phosphate	ピリドキサルリン酸エステル水和物	Pyridoxal Phosphate Hydrate			○		○	
31	ルチン	Rutin	ルチン水和物	Rutin Hydrate					○	
32	レボフロキサシン	Levofloxacin	レボフロキサシン水和物	Levofloxacin Hydrate					○	
33	安息香酸酢酸エストリオール	Estriol Benzoate Diacetate	エストリオール酢酸エステル安息香酸エステル	Estriol Diacetate Benzoate			○			○
34	塩化セチルピリジニウム	Cetylpyridinium Chloride	セチルピリジニウム塩化物水和物	Cetylpyridinium Chloride Hydrate		○			○	
35	塩酸アルギニン	Arginine Hydrochloride	L-アルギニン塩酸塩	L-Arginine Hydrochloride	○					○
36	塩酸イリノテカン	Irinotecan Hydrochloride	イリノテカン塩酸塩水和物	Irinotecan Hydrochloride Hydrate	○				○	
37	塩酸エホニジピン	Efonidipine Hydrochloride	エホニジピン塩酸塩エタノール付加物	Efonidipine Hydrochloride Ethanolate	○					○
38	塩酸オザグレ	Ozagrel Hydrochloride	オザグレ塩酸塩水和物	Ozagrel Hydrochloride Hydrate	○				○	
39	塩酸オルプリン	Olprinone Hydrochloride	オルプリン塩酸塩水和物	Olprinone Hydrochloride Hydrate	○				○	
40	塩酸オンダンセトロン	Ondansetron Hydrochloride	オンダンセトロン塩酸塩水和物	Ondansetron Hydrochloride Hydrate	○				○	
41	塩酸カルピプラミン	Carpipramine Hydrochloride	カルピプラミン塩酸塩水和物	Carpipramine Hydrochloride Hydrate	○				○	
42	塩酸セトチアミン	Cetotiamine Hydrochloride	セトチアミン塩酸塩水和物	Cetotiamine Hydrochloride Hydrate	○				○	
43	塩酸テラゾシン	Terazosin Hydrochloride	テラゾシン塩酸塩水和物	Terazosin Hydrochloride Hydrate	○				○	
44	塩酸トリプロリジン	Tripolidine Hydrochloride	トリプロリジン塩酸塩水和物	Tripolidine Hydrochloride Hydrate	○				○	
45	塩酸パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル	p-Butylaminobenzoylethylaminoethyl Hydrochloride	パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩	Diethylaminoethyl p-Butylaminobenzoate Hydrochloride	○					○
46	塩酸ピルシカイニド	Pilsicainide Hydrochloride	ピルシカイニド塩酸塩水和物	Pilsicainide Hydrochloride Hydrate	○				○	
47	塩酸ピルメノール	Pirmenol Hydrochloride	ピルメノール塩酸塩水和物	Pirmenol Hydrochloride Hydrate	○				○	
48	塩酸ブピバカイン	Bupivacaine Hydrochloride	ブピバカイン塩酸塩水和物	Bupivacaine Hydrochloride Hydrate	○				○	
49	塩酸ベプリジル	Bepriidil Hydrochloride	ベプリジル塩酸塩水和物	Bepriidil Hydrochloride Hydrate	○				○	
50	塩酸マザチコール	Mazaticol Hydrochloride	マザチコール塩酸塩水和物	Mazaticol Hydrochloride Hydrate	○				○	
51	塩酸リルマザホン	Rilmazafone Hydrochloride	リルマザホン塩酸塩水和物	Rilmazafone Hydrochloride Hydrate	○				○	
52	酢酸デスマプレシン	Desmopressin Acetate	デスマプレシン酢酸塩水和物	Desmopressin Acetate Hydrate	○				○	
53	硫酸ベルベリン	Berberine Sulfate	ベルベリン硫酸塩水和物	Berberine Sulfate Hydrate	○				○	
54	硫酸モルヒネ	Morphine Sulfate	モルヒネ硫酸塩水和物	Morphine Sulfate Hydrate	○				○	

表2 新しいJpname命名法の適用によるJAN変更案：日本名のみ変更する医薬品

No	旧JAN日本名	新JAN日本名	変更理由					
			アミンの塩	第4級アンモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	酸のエステル誘導体	水和物	その他
1	dl-塩酸イソプレナリン	dl-イソプレナリン塩酸塩	○					
2	アシタザノラスト 水和物	アシタザノラスト水和物						○
3	アデホビルピボキシル	アデホビル ピボキシル				○		
4	アレンドロン酸ナトリウム 水和物	アレンドロン酸ナトリウム水和物						○
5	イセチオン酸ペンタミジン	ペンタミジンイセチオン酸塩	○					
6	イノシトールヘキサニコチネート	イノシトールヘキサニコチン酸エステル			○			
7	インドメタシンファルネシル	インドメタシン ファルネシル				○		
8	オレイン酸モノエタノールアミン	モノエタノールアミノオレイン酸塩	○					
9	カブロン酸ゲストロン	ゲストロンカブロン酸エステル			○			
10	カブロン酸ヒドロキシプロゲステロン	ヒドロキシプロゲステロンカブロン酸エステル			○			
11	キシナホ酸サルメテロール	サルメテロールキシナホ酸塩	○					
12	クエン酸シルデナフィル	シルデナフィルクエン酸塩	○					
13	クエン酸タモキシフェン	タモキシフェンクエン酸塩	○					
14	クエン酸タンドスピロン	タンドスピロクエン酸塩	○					
15	クエン酸トレミフェン	トレミフェンクエン酸塩	○					
16	グリチルリチン酸モノアンモニウム	グリチルリチン酸一アンモニウム						○
17	グルコン酸クロルヘキシジン	クロルヘキシジグルコン酸塩	○					
18	コハク酸シベンゾリン	シベンゾリンコハク酸塩	○					
19	コハク酸スマトリプタン	スマトリプタンコハク酸塩	○					
20	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム			○			
21	コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸エステルナトリウム			○			
22	サリチル酸ジフェニヒドラミン	ジフェニヒドラミンサリチル酸塩	○					
23	シクロピロクスオラミン	シクロピロクス オラミン						○
24	シクロヘキシルプロピオン酸ナンドロロン	ナンドロロンシクロヘキシルプロピオン酸エステル			○			
25	チトクロムC	チトクロム C						○
26	テオクル酸ジフェニルピラリン	ジフェニルピラリンテオクル酸塩	○					
27	デカン酸ナンドロロン	ナンドロロンデカン酸エステル			○			
28	デカン酸ハロペリドール	ハロペリドールデカン酸エステル			○			
29	デカン酸フルフェナジン	フルフェナジンデカン酸エステル			○			
30	トシル酸スプラタスト	スプラタストトシル酸塩	○					
31	トリプロピオン酸エストリオール	エストリオールプロピオン酸エステル			○			
32	ナパジシル酸アクラトニウム	アクラトニウムナパジシル酸塩	○					
33	パルミチン酸デキサメタゾン	デキサメタゾンパルミチン酸エステル			○			
34	ピバル酸フルメタゾン	フルメタゾンピバル酸エステル			○			
35	ヒベンズ酸クロルプロマジン	クロルプロマジンヒベンズ酸塩	○					
36	ヒベンズ酸プロフェナミン	プロフェナミンヒベンズ酸塩	○					
37	ファルネシル酸プレドニゾン	プレドニゾンファルネシル酸エステル			○			
38	フェノールフタレイン酸クロルプロマジン	クロルプロマジンフェノールフタレイン酸塩	○					
39	フェンジソ酸クロベラスチン	クロベラスチンフェンジソ酸塩	○					
40	フェンジソ酸ペルフェナジン	ペルフェナジンフェンジソ酸塩	○					
41	フマル酸エメダスチン	エメダスチンフマル酸塩	○					
42	フマル酸クエチアピン	クエチアピンフマル酸塩	○					
43	フマル酸テノホビル ジソプロキシル	テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩	○					
44	フマル酸ニゾフェノン	ニゾフェノンフマル酸塩	○					
45	フマル酸ピソプロロール	ピソプロロールフマル酸塩	○					
46	フランカルボン酸モメタゾン	モメタゾンフランカルボン酸エステル			○			
47	フランカルボン酸モメタゾン 水和物	モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物			○			○
48	フルルビプロフェンアキセチル	フルルビプロフェン アキセチル				○		
49	プロピオン酸アルクロメタゾン	アルクロメタゾンプロピオン酸エステル			○			
50	プロピオン酸エストラジオール	エストラジオールプロピオン酸エステル			○			
51	プロピオン酸クロベタゾール	クロベタゾールプロピオン酸エステル			○			

No	旧JAN日本名	新JAN日本名	変更理由					
			アミンの塩	第4級アンモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	酸のエステル誘導体	水和物	その他
52	プロピオン酸デキサメタゾン	デキサメタゾンプロピオン酸エステル			○			
53	プロピオン酸デブロン	デブロンプロピオン酸エステル			○			
54	プロピオン酸ドロスタロン	ドロスタロンプロピオン酸エステル			○			
55	プロピオン酸フルチカゾン	フルチカゾンプロピオン酸エステル			○			
56	ブロムフェナクナトリウム 水和物	ブロムフェナクナトリウム水和物						○
57	ベシル酸アムロジピン	アムロジピンベシル酸塩	○					
58	ベシル酸ベボタスチン	ベボタスチンベシル酸塩	○					
59	ホスカルネットナトリウム 水和物	ホスカルネットナトリウム水和物						○
60	マレイン酸イルソグラジン	イルソグラジンマレイン酸塩	○					
61	マレイン酸エナラプリル	エナラプリルマレイン酸塩	○					
62	マレイン酸カルピプラミン	カルピプラミンマレイン酸塩	○					
63	マレイン酸セチプチリン	セチプチリンマレイン酸塩	○					
64	マレイン酸トリフロペラジン	トリフロペラジンマレイン酸塩	○					
65	マレイン酸トリミプラミン	トリミプラミンマレイン酸塩	○					
66	マレイン酸フルフェナジン	フルフェナジンマレイン酸塩	○					
67	マレイン酸フルボキサミン	フルボキサミンマレイン酸塩	○					
68	マレイン酸プログルメタシン	プログルメタシンマレイン酸塩	○					
69	マロン酸ボピンドロール	ボピンドロールマロン酸塩	○					
70	ミコフェノール酸モフェチル	ミコフェノール酸 モフェチル				○		
71	メシル酸バズフロキサシン	バズフロキサシンメシル酸塩	○					
72	メシル酸イマチニブ	イマチニブメシル酸塩	○					
73	メシル酸サキナビル	サキナビルメシル酸塩	○					
74	メシル酸ジメチアジン	ジメチアジンメシル酸塩	○					
75	メシル酸デラビルジン	デラビルジンメシル酸塩	○					
76	メシル酸ドキサゾシン	ドキサゾシンメシル酸塩	○					
77	メシル酸ナファモスタット	ナファモスタットメシル酸塩	○					
78	メシル酸ネルフィナビル	ネルフィナビルメシル酸塩	○					
79	メシル酸フェントラミン	フェントラミンメシル酸塩	○					
80	メシル酸ブリジノール	ブリジノールメシル酸塩	○					
81	メシル酸プロクロルペラジン	プロクロルペラジンメシル酸塩	○					
82	メシル酸ペルゴリド	ペルゴリドメシル酸塩	○					
83	メタスルホ安息香酸デキサメタゾンナトリウム	デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム			○			
84	メタリン酸テトラサイクリン	テトラサイクリンメタリン酸塩	○					
85	メチル硫酸N-メチルスコポラミン	N-メチルスコポラミンメチル硫酸塩	○					
86	メチル硫酸アメジニウム	アメジニウムメチル硫酸塩	○					
87	メチレンジサリチル酸プロメタジン	プロメタジンメチレンジサリチル酸塩	○					
88	ヨウ化チエモニウム	チエモニウムヨウ化物		○				
89	ヨウ化ブラリドキシム	ブラリドキシムヨウ化物		○				
90	ラウリル硫酸ジフェンヒドラミン	ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩	○					
91	ラクチトール 水和物	ラクチトール水和物						○
92	リンゴ酸クレボプリド	クレボプリドリンゴ酸塩	○					
93	リン酸オセルタミビル	オセルタミビルリン酸塩	○					
94	リン酸デキサメタゾンナトリウム	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム			○			
95	リン酸フルダラビン	フルダラビンリン酸エステル			○			
96	リン酸ブレドニゾロンナトリウム	ブレドニゾロンリン酸エステルナトリウム			○			
97	リン酸ベンプロペリン	ベンプロペリンリン酸塩	○					
98	安息香酸リザトリブタン	リザトリブタン安息香酸塩	○					
99	塩化カルニチン	カルニチン塩化物		○				
100	塩化カルプロニウム	カルプロニウム塩化物		○				
101	塩化デカリニウム	デカリニウム塩化物		○				
102	塩化トロスピウム	トロスピウム塩化物		○				
103	塩化レボカルニチン	レボカルニチン塩化物		○				
104	塩酸アザセトロン	アザセトロン塩酸塩	○					

No	旧JAN日本名	新JAN日本名	変更理由					
			アミン の塩	第4級 アンモ ニウム 塩	アル コール のエステ ル誘 導体	酸のエ ステル 誘導体	水和物	その他
105	塩酸アゼラスチン	アゼラスチン塩酸塩	○					
106	塩酸アプラクロニジン	アプラクロニジン塩酸塩	○					
107	塩酸アプリンジン	アプリンジン塩酸塩	○					
108	塩酸アミオダロン	アミオダロン塩酸塩	○					
109	塩酸アムルピシン	アムルピシン塩酸塩	○					
110	塩酸アモスラロール	アモスラロール塩酸塩	○					
111	塩酸アモロルフィン	アモロルフィン塩酸塩	○					
112	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	○					
113	塩酸アルキルボリアミノエチルグリシン	アルキルボリアミノエチルグリシン塩酸塩	○					
114	塩酸アンプロキソール	アンプロキソール塩酸塩	○					
115	塩酸イソクスプリン	イソクスプリン塩酸塩	○					
116	塩酸イトブリド	イトブリド塩酸塩	○					
117	塩酸イミダプリル	イミダプリル塩酸塩	○					
118	塩酸インジセトロン	インジセトロン塩酸塩	○					
119	塩酸エスモロール	エスモロール塩酸塩	○					
120	塩酸エピナスチン	エピナスチン塩酸塩	○					
121	塩酸エブラジノン	エブラジノン塩酸塩	○					
122	塩酸オキシブチニン	オキシブチニン塩酸塩	○					
123	塩酸オキシメタゾリン	オキシメタゾリン塩酸塩	○					
124	塩酸オロパタジン	オロパタジン塩酸塩	○					
125	塩酸キナプリル	キナプリル塩酸塩	○					
126	塩酸グアンファシン	グアンファシン塩酸塩	○					
127	塩酸グスペリムス	グスペリムス塩酸塩	○					
128	塩酸グラニセトロン	グラニセトロン塩酸塩	○					
129	塩酸クレンブテロール	クレンブテロール塩酸塩	○					
130	塩酸ゲムシタビン	ゲムシタビン塩酸塩	○					
131	塩酸コルホルシン ダロバート	コルホルシンドロバート塩酸塩	○					
132	塩酸サブプロテリン	サブプロテリン塩酸塩	○					
133	塩酸サルボグレラート	サルボグレラート塩酸塩	○					
134	塩酸ジサイクロミン	ジサイクロミン塩酸塩	○					
135	塩酸ジピペフリン	ジピペフリン塩酸塩	○					
136	塩酸ジフェニルピラリン	ジフェニルピラリン塩酸塩	○					
137	塩酸スルトブリド	スルトブリド塩酸塩	○					
138	塩酸セチリジン	セチリジン塩酸塩	○					
139	塩酸セビメリン水和物	セビメリン塩酸塩水和物	○					
140	塩酸セフェタメト ビボキシル	セフェタメト ビボキシル塩酸塩	○					
141	塩酸セベラマー	セベラマー塩酸塩	○					
142	塩酸セリプロロール	セリプロロール塩酸塩	○					
143	塩酸セレギリン	セレギリン塩酸塩	○					
144	塩酸ソタロール	ソタロール塩酸塩	○					
145	塩酸タリベキソール	タリベキソール塩酸塩	○					
146	塩酸チアプリド	チアプリド塩酸塩	○					
147	塩酸チリソロール	チリソロール塩酸塩	○					
148	塩酸デクスメドミジン	デクスメドミジン塩酸塩	○					
149	塩酸テモカプリル	テモカプリル塩酸塩	○					
150	塩酸デラプリル	デラプリル塩酸塩	○					
151	塩酸テルビナフィン	テルビナフィン塩酸塩	○					
152	塩酸ドスレピン	ドスレピン塩酸塩	○					
153	塩酸ドネペジル	ドネペジル塩酸塩	○					
154	塩酸トラゾドン	トラゾドン塩酸塩	○					
155	塩酸トラゾリン	トラゾリン塩酸塩	○					
156	塩酸トラマゾリン	トラマゾリン塩酸塩	○					
157	塩酸トラマドール	トラマドール塩酸塩	○					

No	旧JAN日本名	新JAN日本名	変更理由					
			アミン の塩	第4級 アンモ ニウム 塩	アル コール のエステ ル誘 導体	酸のエ ステル 誘導体	水和物	その他
158	塩酸ドルゾラミド	ドルゾラミド塩酸塩	○					
159	塩酸トロピセトロン	トロピセトロン塩酸塩	○					
160	塩酸ニフェカラント	ニフェカラント塩酸塩	○					
161	塩酸ニムスチン	ニムスチン塩酸塩	○					
162	塩酸ネチコナゾール	ネチコナゾール塩酸塩	○					
163	塩酸ノギテカン	ノギテカン塩酸塩	○					
164	塩酸バラシクロビル	バラシクロビル塩酸塩	○					
165	塩酸バルデナフィル水和物	バルデナフィル塩酸塩水和物	○					
166	塩酸バルニジピン	バルニジピン塩酸塩	○					
167	塩酸パロキセチン水和物	パロキセチン塩酸塩水和物	○					
168	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン塩酸塩	○					
169	塩酸ピバンペロン	ピバンペロン塩酸塩	○					
170	塩酸ピペタナート	ピペタナート塩酸塩	○					
171	塩酸ピペリドレート	ピペリドレート塩酸塩	○					
172	塩酸ピロヘプチン	ピロヘプチン塩酸塩	○					
173	塩酸ファスジル水和物	ファスジル塩酸塩水和物	○					
174	塩酸ファドロゾール水和物	ファドロゾール塩酸塩水和物	○					
175	塩酸フェキソフェナジン	フェキソフェナジン塩酸塩	○					
176	塩酸ブテナフィン	ブテナフィン塩酸塩	○					
177	塩酸ブニトロロール	ブニトロロール塩酸塩	○					
178	塩酸ブプレノルフィン	ブプレノルフィン塩酸塩	○					
179	塩酸ブホルミン	ブホルミン塩酸塩	○					
180	塩酸ブラゾシン	ブラゾシン塩酸塩	○					
181	塩酸ブラミベキソール水和物	ブラミベキソール塩酸塩水和物	○					
182	塩酸ブラルモレリン	ブラルモレリン塩酸塩	○					
183	塩酸プロバフェン	プロバフェン塩酸塩	○					
184	塩酸プロピトカイン	プロピトカイン塩酸塩	○					
185	塩酸プロピベリン	プロピベリン塩酸塩	○					
186	塩酸プロフェナミン	プロフェナミン塩酸塩	○					
187	塩酸ベタキソロール	ベタキソロール塩酸塩	○					
188	塩酸ベナゼプリル	ベナゼプリル塩酸塩	○					
189	塩酸ベネキサートベータデクス	ベネキサート塩酸塩 ベータデクス	○					○
190	塩酸ベバントロール	ベバントロール塩酸塩	○					
191	塩酸ペロスピロン 水和物	ペロスピロン塩酸塩水和物	○					○
192	塩酸ホミノベン	ホミノベン塩酸塩	○					
193	塩酸マニジピン	マニジピン塩酸塩	○					
194	塩酸マブテロール	マブテロール塩酸塩	○					
195	塩酸ミアンセリン	ミアンセリン塩酸塩	○					
196	塩酸ミトキサントロン	ミトキサントロン塩酸塩	○					
197	塩酸ミドドリン	ミドドリン塩酸塩	○					
198	塩酸ミルナシプラン	ミルナシプラン塩酸塩	○					
199	塩酸メチキセン	メチキセン塩酸塩	○					
200	塩酸メチルフェニデート	メチルフェニデート塩酸塩	○					
201	塩酸メキサミン	メキサミン塩酸塩	○					
202	塩酸メキシフェナミン	メキシフェナミン塩酸塩	○					
203	塩酸モキシフロキサシン	モキシフロキサシン塩酸塩	○					
204	塩酸モサプラミン	モサプラミン塩酸塩	○					
205	塩酸モペロン	モペロン塩酸塩	○					
206	塩酸ラベタロール	ラベタロール塩酸塩	○					
207	塩酸ラモセトロン	ラモセトロン塩酸塩	○					
208	塩酸ラロキシフェン	ラロキシフェン塩酸塩	○					
209	塩酸ランジオロール	ランジオロール塩酸塩	○					
210	塩酸レボカバスチン	レボカバスチン塩酸塩	○					

No	旧JAN日本名	新JAN日本名	変更理由					
			アミンの塩	第4級アンモニウム塩	アルコールのエステル誘導体	酸のエステル誘導体	水和物	その他
211	塩酸レボブノロール	レボブノロール塩酸塩	○					
212	塩酸レボメプロマジン	レボメプロマジン塩酸塩	○					
213	塩酸ロピバカイン水和物	ロピバカイン塩酸塩水和物	○					
214	塩酸ロフェブラミン	ロフェブラミン塩酸塩	○					
215	吉草酸エストラジオール	エストラジオール吉草酸エステル			○			
216	吉草酸ジフルコルトロン	ジフルコルトロン吉草酸エステル			○			
217	吉草酸デキサメタゾン	デキサメタゾン吉草酸エステル			○			
218	吉草酸酢酸プレドニゾン	プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル			○			
219	酒石酸ゾルピデム	ゾルピデム酒石酸塩	○					
220	酒石酸ビノレルビン	ビノレルビン酒石酸塩	○					
221	臭化エチルピペタナート	ピペタナート エトプロミド						○
222	臭化オキシトロピウム	オキシトロピウム臭化物		○				
223	臭化チオトロピウム水和物	チオトロピウム臭化物水和物		○				
224	臭化チキジウム	チキジウム臭化物		○				
225	臭化ドミフェン	ドミフェン臭化物		○				
226	臭化ネオスチグミン	ネオスチグミン臭化物		○				
227	臭化バレタメート	バレタメート臭化物		○				
228	臭化ブリフィニウム	ブリフィニウム臭化物		○				
229	臭化ベクロニウム	ベクロニウム臭化物		○				
230	臭化メチルオクタロピン	メチルオクタロピン臭化物		○				
231	臭化水素酸エプタゾン	エプタゾン臭化水素酸塩	○					
232	臭化水素酸エトレリブタン	エトレリブタン臭化水素酸塩	○					
233	臭化水素酸フェノテロール	フェノテロール臭化水素酸塩	○					
234	硝酸イソコナゾール	イソコナゾール硝酸塩	○					
235	硝酸エコナゾール	エコナゾール硝酸塩	○					
236	硝酸オキシコナゾール	オキシコナゾール硝酸塩	○					
237	硝酸スルコナゾール	スルコナゾール硝酸塩	○					
238	硝酸チアミンジスルフィド	チアミンジスルフィド硝化物		○				
239	酢酸エチノジオール	エチノジオール酢酸エステル			○			
240	酢酸オクトレオチド	オクトレオチド酢酸塩	○					
241	酢酸ゴセレリン	ゴセレリン酢酸塩	○					
242	酢酸ジフロラゾン	ジフロラゾン酢酸エステル			○			
243	酢酸ソマトレリン	ソマトレリン酢酸塩	○					
244	酢酸デキサメタゾン	デキサメタゾン酢酸エステル			○			
245	酢酸テトラコサクチド	テトラコサクチド酢酸塩	○					
246	酢酸テリバラチド	テリバラチド酢酸塩	○					
247	酢酸パラメタゾン	パラメタゾン酢酸エステル			○			
248	酢酸ハロプレドン	ハロプレドン酢酸エステル			○			
249	酢酸ブセレリン	ブセレリン酢酸塩	○					
250	酢酸フルドロコルチゾン	フルドロコルチゾン酢酸エステル			○			
251	酢酸フレカイニド	フレカイニド酢酸塩	○					
252	酢酸ベタメタゾン	ベタメタゾン酢酸エステル			○			
253	酢酸メチルプレドニゾン	メチルプレドニゾン酢酸エステル			○			
254	酢酸メドロキシプロゲステロン	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル			○			
255	酢酸リユープロレリン	リユープロレリン酢酸塩	○					
256	酪酸クロベタゾン	クロベタゾン酪酸エステル			○			
257	酪酸プロピオン酸ベタメタゾン	ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル			○			
258	硫酸アタザナビル	アタザナビル硫酸塩	○					
259	硫酸アバカビル	アバカビル硫酸塩	○					
260	硫酸インジナビル エタノール付加物	インジナビル硫酸塩エタノール付加物	○					○
261	硫酸セフォセリス	セフォセリス硫酸塩	○					
262	硫酸ビンデシン	ビンデシン硫酸塩	○					

表3 新しいJPname命名法の適用によるJAN変更案:英名のみ変更する医薬品

No	JAN日本名	旧JAN英名	新JAN英名	変更理由						
				アミ ンの 塩	第4 級ア ンモ ニウ ム塩	アル コー ルの エス テル 誘導 体	酸の エス テル 誘導 体	水和 物	その他	
1	L-アスパラギン酸カリウム	L-Aspartate Potassium	Potassium L-Aspartate							○
2	イオタラム酸ナトリウム	Sodium Iotalamic Acid	Sodium Iotalamate							○
3	グリチルリチン酸二カリウム	Glycyrrhizinate Dipotassium	Dipotassium Glycyrrhizinate							○
4	結合型エストロゲン	Estrogens, Conjugated	Conjugated Estrogens							○
5	精製下垂体性腺刺激ホル モン	Human Menopausal Gonadotrophin, Purified	Purified Human Menopausal Gonadotrophin							○
6	ニコチン酸1-(4-メチルフェニ ル)エチル	1-(4-Methylphenyl)ethylnicotinate	1-(4-Methylphenyl)ethyl Nicotinate							○
7	パラアミノ馬尿酸ナトリウム	p-Aminohippurate Sodium	Sodium p-Aminohippurate							○
8	フルフェナム酸アルミニウム	Flufenamic Acid Aluminum	Flufenamate Aluminum							○
9	無水エタノール	Ethanol, Dehydrated	Anhydrous Ethanol							○

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
松田芳久	比表面積測定法 粒度測定法 粉体の流動性		第十五改正日本 薬局方解説書	廣川書店	東京	2006	B392-402 B412-426 F322-333
松田芳久	比表面積測定法 粒度測定法 粉体の流動性		JPTI 日本薬局方 技術情報	じほう	東京	2006	141-142 144-147 327-330
宮田直樹	日本名と英名	日本公定書 協会	日本薬局方 技術 情報 2006	じほう	東京	2006	18-19
宮田直樹	構造式と化学名	日本公定書 協会	日本薬局方 技術 情報 2006	じほう	東京	2006	19-29
宮田直樹	分子式と分子量	日本公定書 協会	日本薬局方 技術 情報 2006	じほう	東京	2006	29-30

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hashii, N. Kawasaki, N. Itoh, S. Hyuga, M. Kawanishi, T. Hayakawa, T	Glycoproteomic analysis by LC/MS: Analysis of glycan structure alteration in the cells.	<i>Proteomics</i>	5	4665-4672	2006
Kawanishi, T.	Regulatory perspectives from Japan - comparability of biopharmaceuticals	<i>Biologicals,</i>	34,	65-68	2006
Ishii-Watabe, A. Kanayasu- Toyoda, T. Suzuki, T. Kobayashi, T. Yamaguchi, T. Kawanishi, T.	Influences of the recombinant artificial cell adhesive proteins on the behavior of human umbilical vein endothelial cells in serum-free culture,	<i>Biologicals</i>	35	1045-1056	2007
Nakajima K. Kinoshita M. Matsushita N.	Capillary affinity electrophoresis using lectins for the analysis of milk oligosaccharide structure	<i>Anal Biochem.</i>	348	105-114	2006

Urashima T. Suzuki M. Suzuki A. Takehi K.	and its application to bovine colostrum oligosaccharides.				
Naka R Kamoda S. Ishizuka A. Kinoshita M. Takehi K.	Analysis of total N-glycans in cell membrane fractions of cancer cells using a combination of serotonin affinity chromatography and normal phase chromatography.	<i>J Proteome Res.</i>	5	88-97	2006
Kamoda S. Nakanishi Y. Kinoshita M. Ishikawa R. Takehi K.	Analysis of glycoprotein-derived oligosaccharides in glycoproteins detected on two-dimensional gel by capillary electrophoresis using on-line concentration method.	<i>J Chromatogr A.</i>	1106	67-74	2006
Kamoda S. Takehi K.	Capillary electrophoresis for the analysis of glycoprotein pharmaceuticals.	<i>Electrophoresis.</i>	27	2495-2504	2006
Matsuno YK Nakamura H. Takehi K.	Comparative studies on the analysis of urinary trypsin inhibitor (ul nastatin) preparations.	<i>Electrophoresis.</i>	27	2486-2494	2006
Kamoda S. Ishikawa R. Takehi K.	Capillary electrophoresis with laser-induced fluorescence detection for detailed studies on N-linked oligosaccharide profile of therapeutic recombinant monoclonal antibodies	<i>J Chromatogr A.</i> 2006 1133(1-2), 332-339.	1133	332-339	2006
Matsuno YK Yamada K. Tanabe A. Kinoshita M. Maruyama SZ. Osaka YS. Masuko T. Takehi K	Development of an apparatus for rapid release of oligosaccharides at the glycosaminoglycan-protein linkage region in chondroitin sulfate-type proteoglycans.	<i>Anal Biochem.</i>	362	245-257	2007
Itoh S. Kawasaki N. Hashii N.	N-linked oligosaccharide analysis of rat brain Thy-1 by liquid chromatography with graphitized	<i>J Chromatogr A.</i>	1103	296-306	2006

Harazono A Matsuishi Y. Hayakawa T. Kawanishi T.	carbon column/ion trap-Fourier transform ion cyclotron resonance mass spectrometry in positive and negative ion modes.				
Harazono A. Kawasaki N. Itoh S. Hashii N. Ishii-Watabe A. Kawanishi T. Hayakawa T.	Site-specific N-glycosylation analysis of human plasma ceruloplasmin using liquid chromatography with electrospray ionization tandem mass spectrometry.	<i>Anal Biochem.</i>	348	259-268	2006
川西 徹	バイオロジクスのトランスレーショナルリサーチ(2)	日薬理誌	127	49	2006
早川堯夫	第十四改正日本薬局方第二追補について	<i>医薬品研究</i>	37	27-41	2006
早川堯夫	局方の国際調和と日本薬局方の今後の動向	<i>医薬品研究</i>	37	676-696	2006
早川堯夫	第十五改正日本薬局方の概要、医薬品各条(生物薬品)及び今後の動向	<i>医薬品研究</i>	37(769-788	2006
早川堯夫	Biotechnology(品質)に関するガイドラインの動向について	<i>医薬品研究</i>	38	14-23	2007
T. Kojima S. Onoue N. Murase F. Katoh T., Mano Y. Matsuda	Crystalline Form Information from Multiwell Plate Salt Screening by Use of Raman Microscopy,	Pharm. Res	23(4)	806-812	2006
F. Kato M. Otsuka Y. Matsuda	Kinetic study of the transformation of mefenamic acid polymorphs in various solvents and under high humidity conditions	Int. J. Pharm.	321	18-26	2006
松田芳久	第15改正日本薬局方の改正点ー粉体物性に関連する試験法ー	薬局	57	2147-2150	2006
松田芳久 寺岡麗子	原薬の光安定性の評価ー製剤の開発過程におけるプレフォーミュレーション研究ー	Pharm Tech Japan	22(6)	1049-1057	2006
松田芳久 寺岡麗子	光に対して不安定な医薬品のための種々の安定化設計ー固形製剤を中心としてー	Pharm Tech Japan	22(10)	1963-1971	2006

松田芳久	固形医薬品の光安定性の評価と 2, 3 の安定化設計	薬剤学	66(5)	326-331	2006
青柳伸男	第 15 改正日本薬局方製剤総則と製剤試験法の改正について	ファームテックジャパン	22	1417-1421	2006
宮田直樹	第十五改正日本薬局方: 医薬品の名称・構造式・化学名の改正について	医薬品研究	37(12)	827-845	2006
宮田直樹	第 15 改正日本薬局方: 収載医薬品の日本名と英名の変更について	<i>Pharm. Tech. Japan</i>	22(8)	1431-1448	2006
宮田直樹 山崎 壮	医薬品日本名の改正について	薬局	57(5)	2115-2132	2006
宮田直樹 川崎ナナ 内田恵理子	薬の名前: ステムを知られば薬がわかる	<i>Pharm. Tech. Japan</i>	22(9) 22(10) 22(11) 22(12) 22(13) 23(1) 23(2) 23(3)	1675-1679 1901-1905 2079-2084 2301-2309 2483-2491 117-124 283-289 476-482	2006 2006 2006 2006 2006 2007 2007 2007

日本名と英名

技術情報

1. 日本名の命名法

日本名は、わが国における医薬品の一般的名称 (JAN)、及び、国際一般的名称 (INN) を参考に命名する。英語名の日本語訳に際しては、字訳基準に従って日本語訳をする。

遺伝子組換えで生産される医薬品の日本名は、「〇〇〇 (遺伝子組換え)」のように表記し遺伝子組換え産物であることを明示する。

[例]

ヒトインスリン (遺伝子組換え)

テセロイキン (遺伝子組換え)

INN は原薬の活性本体部分に対して命名されるのに対して、JAN は実際に流通している医薬品 (例えば、水和物、塩、プロドラッグ体など) に対して命名される。これらを modified INN (mINN) という。

第十五改正日本薬局方 (日局 15) では、平成 14 年 12 月 27 日付け厚生労働省医薬局審査管理課事務連絡「第十五改正日本薬局方原案作成要領」に従い、これら mINN に該当する多くの医薬品の日本名が変更された。以下、これらについて説明する。

- ① 医薬品がアミン類の無機酸塩又は有機酸塩の場合は、
「〇〇〇***塩」と命名する。(〇〇〇はアミン類
に対応する INN。***は無機あるいは有機酸)

[例]

アクラルピシン塩酸塩 (塩酸アクラルピシン)

クロミフェンクエン酸塩 (クエン酸クロミフェン)

(以下、例示中のかっこ内の表記は、第十四改正
日本薬局方 (日局 14) での日本名)

- ② 医薬品がアミン類の四級アンモニウム塩の場合は、
「〇〇〇***化物」と命名する。

[例]

アンベノニウム塩化物 (塩化アンベノニウム)

- ③ 活性本体がアルコール誘導体であり、そのエステル
誘導体が原薬 (プロドラッグ) である場合は、「〇
〇〇***エステル」と命名する。

[例]

ヒドロコルチゾン酪酸エステル (酪酸ヒドロコルチ
ゾン)

- ④ 水和物の場合は、「〇〇〇水和物」と命名する。た
だし、水和物の数は表記しない⁽¹⁾⁽²⁾。

[例]

アンピシリン水和物 (アンピシリン)

ピベミド酸水和物 (ピベミド酸三水和物)

注 1) WHO は、水和物について水和物の数を記載する (一水和物、二水和物、三水和物など) ことを推奨しており、今後の検討課題である。

結晶水を有しない場合は、「無水」を表記しない。ただし、日局 14 で「無水」を用いていた品目で日局 15 で「無水」の表記を削除すると混乱が生じると予想される品目では「無水」を残した。

[例]

「無水アンピシリン」など⁽¹⁾⁽²⁾

注 2) 日局 14 に収載されている「無水アンピシリン」「無水カフェイン」「無水クエン酸」「無水乳糖」の 4 品目が該当する。これらは、「無水を表記しない」のルールに従えば、それぞれ「アンピシリン」「カフェイン」「クエン酸」「乳糖」となる。しかし、これらの水和物も局方品目として存在し、日局 14 では、「アンピシリン」「カフェイン」「クエン酸」「乳糖」として収載されていた。日局 15 において、これら水和物の名前は、「アンピシリン水和物」「カフェイン水和物」「クエン酸水和物」「乳糖水和物」と変更されたが、同時に日局 15 において、従来の無水物の名称を「アンピシリン」「カフェイン」「クエン酸」と変更することは混乱を招く恐れがあるので、日局 15 では、「無水アンピシリン」「無水カフェイン」「無水クエン酸」「無水乳酸」の「無水」表記の削除をしないことになった。今後、「アンピシリン水和物」「カフェイン水和物」「クエン酸水和物」「乳酸水和物」の名前が定着した後に、「無水アンピシリン」「無水カフェイン」「無水クエン酸」「無水乳酸」の「無水」表記の削除を検討する必要がある。

原体が水和物である製剤の名称では「水和物」を表記しない。

[例]

診断用クエン酸ナトリウム液 (原薬は「クエン酸ナ
トリウム水和物」)

スキサメトニウム塩化物注射液 (原薬は「スキサメ
トニウム塩化物水和物」)

コデインリン酸塩散 1% (原薬は「コデインリン酸
塩水和物」)

ビペラジンリン酸塩錠 (原薬は「ビペラジンリン酸
塩水和物」)

- ⑤ 原薬がプロドラッグなどで、国際一般名が置換基を
持つ誘導体表記 (二語表記、mINN) の場合には、
日本名も mINN に準じてスペース付きの二語表記
「〇〇〇 △△△」で命名する⁽¹⁾⁽²⁾。

ただし、規格及び試験方法などの文章中であって
は、文言や体裁の不自然さを避けるために、スペー
スを省略し、一語表記 (〇〇〇△△△) で記載する
ことができる。

[例]

セフロキシム アキセチル

ジノスタチン スチマラマー

アルプロスタジル アルファデクス

リマプロスト アルファデクス

注3)スペースは、全角スペースとする。

日局 15 に採用された命名法より、薬効の本質成分が日本名の最初に書き表され、本質成分が明確に表現されるようになった。また、諸外国の英名の表記とも整合し国際調和した。また、医薬品が塩であるかエステルであるかの区別が明確になった。日局 14 での日本名は日局 15 では別名として残った。

2. 英名の表記法

英名は、日本名に対応して命名する。英名は、それぞれの単語の最初の文字を大文字で始める。日局 15 で水和物の日本名に「水和物」表記が加わったのに伴って、英名にも「Hydrate」表記が加わった。

【例】

Azithromycin Hydrate (アジスロマイシン水和物の英名。日局 14 の英名は Azithromycin)

3. 日本名別名の表記法

日本名が、INN の日本語読み、又は、採用されている名称と異なるときなどは、これらを日本名別名として掲げる。また、日本名が改正されたときは、改正前の日本名を日本名別名として掲げる。それらは、次の大改正時において削除される予定である。今回、多くの日本名が変更されたことにより、日局 14 での正名が日本名別名として掲載された。

構造式と化学名

技術情報

1. 構造式の表記法

(1) 構造式の表記

構造が明らかな場合には構造式を表記する。構造式の表記法は、“The graphic representation of chemical formulae in the publications of international nonproprietary names (INN) for pharmaceutical substances (WHO/Pharm/95.579)”を参考にする¹⁾。

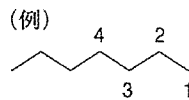
表記する構造式は、原則として化学名と整合させる。互変異性体が存在する場合には、主たる構造異性体の構造式のみを表記する。

元素記号の表記は、ゴシック体 (Helvetica, 又は, Arial) を用いる。日局 15 収載の構造式は、化学構造式描画ソフトを用いて以下のパラメータで作成し、60% 縮小して表示した。

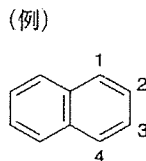
Chain angle : 120
 Bond spacing : 18 %
 Fixed length : 0.635 cm
 Bond width : 0.088 cm
 Line width : 0.019 cm
 Margin width : 0.071 cm
 Hash spacing : 0.049 cm
 Atom labels : Helvetica 又は Arial, 10 point

(2) 構造式のレイアウト

母核が鎖状構造の化合物の場合は、できる限り面積をとらない横書きとし、位置番号が 1 になる部分を右側に置き、左側に向かって位置番号が増加するように表記する。



母核が環系構造の化合物の場合は、位置番号が 1 になる部分を上または右上に置き、位置番号が右回りになるように表記する。

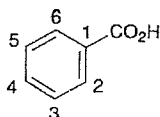


母核がベンゼン環の場合は、位置番号が 1 になる部分を右上に置き、位置番号が右回りになるようにし、位置番号 1 と位置番号 2 の炭素-炭素結合が垂直にな

るよう表記する。

二重結合表示は、原則として位置番号1と位置番号2の間、位置番号3と位置番号4の間、位置番号5と位置番号6の間に書く。

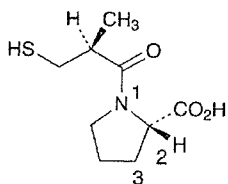
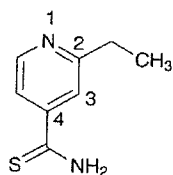
(例)



母核がピリジンやピロリジンのような複素単環の場合は、位置番号が1になる部分を上に置き、位置番号が右回りになるよう表記する。

二重結合表示は、原則として位置番号1と位置番号2の間、位置番号3と位置番号4の間、位置番号5と位置番号6の間に書く。

(例)



(3) 炭素結合手の表記

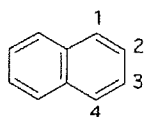
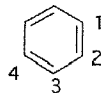
結合手は、一重結合は実線で、二重結合は二重実線で、三重結合は三重実線で表記する。

炭素—炭素結合の連鎖は、折れ線で表記し、炭素元素記号(C)は表記しない。

環状化合物の場合には、八員環までは正多角形で表記する。

芳香環の二重結合は、原則として位置番号1と2の間を二重結合で表記する。

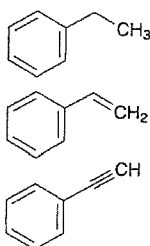
(例)



(4) 官能基の表記

末端の炭素は元素記号を表記する。

(例)



化学構造に炭素原子以外の原子が含まれる場合には、元素記号を表記する。

(例)

エーテル	
ケトン	
エステル	
二級アミン	
三級アミン	
イミン	
アミド	
チオエーテル	
スルホニル	
スルフィニル	
チオケトン	
ブロム	—Br
クロル	—Cl
フッ素	—F
ヨウ素	—I

以下に示す末端官能基は、官能基を構成する原子間の結合手を省略して表記する。

(例)

フォルミル基	—CHO
カルボキシル基	—CO ₂ H
水酸基	—OH
チオール基	—SH
アミノ基	—NH ₂
ニトロ基	—NO ₂
シアノ基	—CN

スルホン酸基 —SO₃H
 アジド基 —N₃

(5) 立体構造の表記

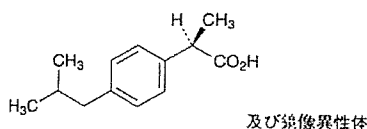
立体構造（絶対構造及び相対構造）が明らかな場合には、立体構造を表記する。

立体配置は、楔線と破線を用いて結合手を表記する。キラルな炭素原子についた水素原子は、必ず元素記号 H を表記する。

絶対配置が明らかな場合には、立体構造式は絶対構造を意味する。

ラセミ体の場合には、鏡像異性体の一方の構造を表記し、構造式の横に及び鏡像異性体と表記する。

(例)

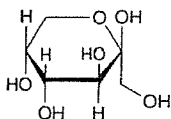


環状の糖構造は、Haworth 表記法を用いて立体構造を表記する。

炭素原子に水素が 2 個ついている場合には、元素記号 H の表記を省略する。

糖構造は通常の大さの構造式を更に 78% 縮小したものを使用する。

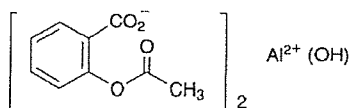
(例)



(6) イオンの構造の表記

2 価以上のイオンの構造は、Al²⁺ のように数字を用いて表記する。

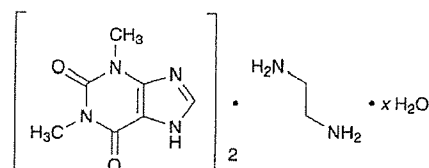
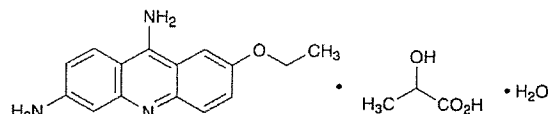
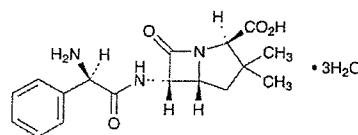
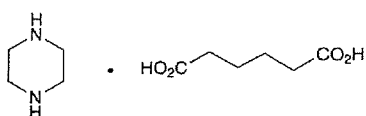
(例)



(7) 有機酸塩及び結晶溶媒の表記

アミン類の有機酸塩（酒石酸塩など）の酸部分の構造式及び結晶溶媒（結晶水など）の構造式は、本体の構造式の後に・を入れ、その次に表記する。

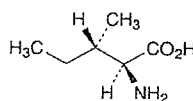
(例)



(8) アミノ酸及びペプチドの構造表記

アミノ酸は、カルボン酸基及びアミノ基をそれぞれ -CO₂H、-NH₂ で表示し、ベタイン型の表記は使用しない。

(例)



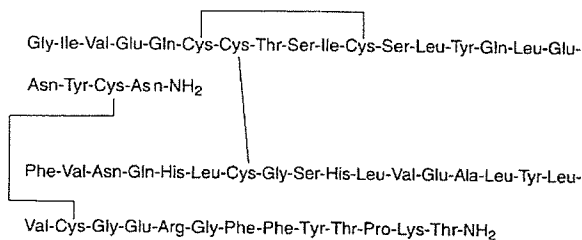
ペプチドは、アミノ酸の三文字略号（一文字目は大文字、二文字目以降は小文字）を用いて構造を表記する。ただし、4 個以下のアミノ酸より構成されるペプチドの場合には、三文字略号ではなく、個々のアミノ酸の構造式を表記する。

ペプチドの主鎖は、横に並べて表記する。

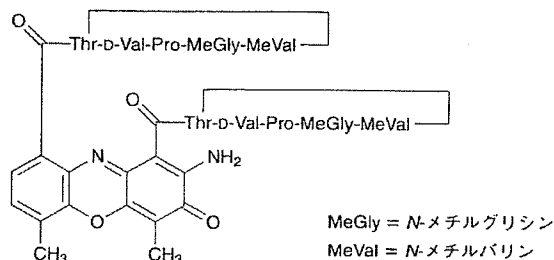
アミノ酸を三文字略号で記載する場合には、アミノ酸が D 体の場合には三文字表示の前に D- を付けて表記する。また、ラセミ体の場合には、DL- を付けて表記する。アミノ酸が天然型の L 体の場合には、L- を省略する。

(例)

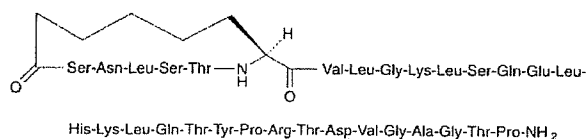
ヒトインスリン（遺伝子組換え）



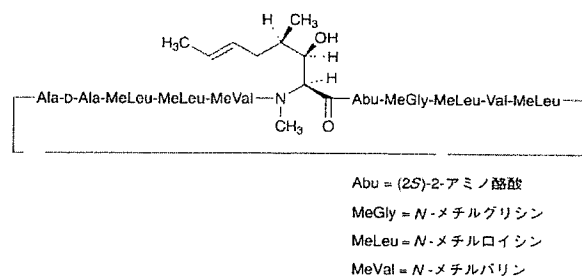
アクチノマイシン D



エルカトニン



シクロスポリン



2. 化学名の命名法

化学名は、IUPAC の命名規則に従って命名する。IUPAC の命名規則は、『有機化学・生化学命名法 (南江堂刊)』²⁾、及び『A guide to IUPAC nomenclature of organic compounds: Recommendations 1993』³⁾を参考にする⁴⁾。

(1) 化学名の表記

化学構造が明らかな場合には、アルファベットを用いて化学名を表記する。化学名の最初は大文字で表記する。構造式が表記されていない医薬品は、化学名を表記しない。

(2) 命名の体系

化学名は、IUPAC の置換式命名法により体系的に命名する。ただし、複雑な化合物の場合には、同一要素集合型の命名法、あるいは、CAS で使用している非体系的母核構造名を使用した半体系的命名法により命名する。

(3) 置換基の命名

化学名を簡略化するため、IUPAC で使用が認められている置換基名は、原則としてこれを使用する。

最近、従来は使用が認められていた慣用的な置換基名の使用、あるいは、使用条件が徐々に制限されてきており、注意が必要である。以下、本文の説明に該当する個所に下線をつけた。

(例)

2-Acetoxybenzoic acid (アスピリン)

[2,3-Dichloro-4-(2-ethylacryloyl)phenoxy]acetic acid (エタクリン酸)

(2*RS*)-1-(2-Allylphenoxy)-3-

[(1-methylethyl)amino]propan-2-ol monohydrochloride (アルプレノロール塩酸塩)

4-Acetyl-*N*-(cyclohexylcarbamoyl) benzenesulfonamide (アセトヘキサミド)

N-(1-Ethylpyrrolidin-2-ylmethyl)-2-methoxy-5-sulfamoylbenzamide (スルピリド)

なお、日局 15 では、*iso* 及び *tert*-を用いる慣用的置換基名の使用を中止し、*isopropyl* や *isopentyl* に換えてそれぞれ 1-methylethyl と 3-methylbutyl を、*tert*-butyl に換えて 1,1-dimethylethyl を用いて体系的に命名した。

(例)

(2*RS*)-1-[2-(Allyloxy)phenoxy]-

3-(1-methylethyl)aminopropan-2-ol monohydrochloride (オクスプレノロール塩酸塩)

5-Ethyl-5-(3-methylbutyl)pyrimidine-

2,4,6(1*H*,3*H*,5*H*)-trione (アモバルビタール)

(1*RS*)-1-(2-Chlorophenyl)-2-

(1,1-dimethylethyl)aminoethanol monohydrochloride (ソロブテロール塩酸塩)

複雑な置換基構造を表記する場合には、括弧を

(), [], |], (), [], |], …… の順に使用する。

(例)

2-[(*Z*)-(2-Aminothiazol-4-yl)-[(2*S*,3*S*)-2-methyl-4-oxo-1-sulfoazetidino-3-ylcarbamoyl]methyleneaminoxy]-2-methyl-1-propanoic acid (アストレオナム)

2-(4-[3-[2-(Trifluoromethyl)-10*H*-phenothiazin-10-yl]propyl]piperazin-1-yl)ethyl heptanoate (フルフェナジンエナント酸エステル)

括弧を付けることにより、化学構造の理解が容易になる場合には、括弧を用いて命名する。

(例)

8-Hydroxy-5-[(1*RS*,2*SR*)-1-hydroxy-2-[(1-methylethyl)amino]butyl]quinolin-2(1*H*)-one monohydrochloride hemihydrate (プロカテロール塩酸塩水和物)

N-(1-Methylethyl)-
4-[(2-methylhydrazino)methyl]benzamide
monohydrochloride (プロカルバジン塩酸塩)

メタン置換体の化学名は、それぞれの置換基がメチルの炭素に結合していることを明示するために括弧を用いた。

(例)
1-[(2-Chlorophenyl)(diphenyl)methyl]-1*H*-imidazole
(クロトリマゾール)
1-[(*RS*)-(Biphenyl-4-yl)(phenyl)methyl]-1*H*-imidazole
(ビホナゾール)

主基がカルボン酸あるいはカルボン酸誘導体である化合物の命名は、炭素数が3から5のカルボン酸の場合、慣用名を用いず体系的名称を用いる。

(例)
(2*S*)-2-Amino-4-[1-(carboxymethyl)carbamoyl-(2*R*)-2-sulfanylethylcarbamoyl]butanoic acid (グルタチオン)
2-(4-{2-[(4-Chlorobenzoyl)amino]ethyl}phenoxy)-2-methylpropanoic acid (ベザフィブラート)
(2*S*)-2-Amino-5-guanidinopentanoic acid (L-アルギニン)
(2*RS*)-2-Bis(1-methylethyl)amino-2-phenyl-2-(pyridin-2-yl)butanamide (ジソビラミド)
3-Oxoandrost-4-en-17β-yl propanoate
(テストステロンプロピオン酸エステル)

アミノ基を主基とする*N*-置換化合物は、側鎖とする置換基にのみ*N*-を付けて命名する。

(例)
3-(10,11-Dihydro-5*H*-dibenzo[*a,d*]cyclohepten-5-ylidene)-*N,N*-dimethylpropylamine monohydrochloride
(アミトリプチリン塩酸塩)
3-(10,11-Dihydro-5*H*-dibenzo[*b,f*]azepin-5-yl)-*N,N*-dimethylpropylamine monohydrochloride
(イミプラミン塩酸塩)

エーテルを主基とする化合物は、アルコキシアルカン方式で命名する。

(2*RS*)-2-Chloro-1-(difluoromethoxy)-1,1,2-trifluoroethane
(エンフルラン)

(4) 置換位置の命名

置換基の置換位置を表示する場合には、数字を用いる。例えば、芳香環上の置換位置を示すときは、2-, 3-, 4-を使用し、*o*-, *m*-, *p*- は使用しない。炭素鎖上の置換位置を示す場合も、数字2-, 3-, 4-などを用い、 α -, β -, γ -, ……、 ω - などを使用しない。

置換基の置換位置を表示する位置数字は、置換基名

の直前に置く。

(例)
3,5-Bis(acetylamino)-2,4,6-triiodobenzoic acid
(アミドトリゾ酸)
2-Hydroxypropane-1,2,3-tricarboxylic acid (無水クエン酸)
(2*S*)-*N*-Methyl-1-phenylpropan-2-amine
monohydrochloride (メタンフェタミン塩酸塩)

置換位置の混乱を避ける必要がある場合には、付加位置を表すために元素記号*C*-, *N*-, *O*-, *S*-などを使用する。

(例)
N-(5-Sulfamoyl-1,3,4-thiadiazol-2-yl)acetamide
(アセタゾラミド)
O-Naphthalen-2-yl *N*-methyl-*N*-(3-methylphenyl)thiocarbamate (トルナフタート)
4-(3,4,5,6-Tetrahydro-2*H*-1,2-thiazin-2-yl)benzenesulfonamide *S,S*-dioxide (スルチアム)

対称構造を有する化合物、あるいは、核酸誘導体など複雑な構造の化合物で置換位置を明示する場合には、 \prime を使用する。

(例)
N,N'-Bis[2-hydroxy-1-(hydroxymethyl)ethyl]-5-[(2*S*)-2-hydroxypropanoylamino]-2,4,6-triiodoisophthalamide
(イオバミドール)
5-Iodo-2'-deoxyuridine (イドクスウリジン)
Disodium 3,3'-dioxo-[4^{2,2'}-biindoline]-5,5'-disulfonate
(インジゴカルミン)
N-(1-Methylethyl)-
2,2'-(Ethylenediimino)bis[(2*S*)-butan-1-ol] dihydrochloride
(エタンブトール塩酸塩)

(5) 環式構造の命名

化学名を簡略化するため、IUPAC で認められている範囲で慣用名を使用し命名する。

(例)
2,5,7,8-Tetramethyl-2-(4,8,12-trimethyltridecyl)chroman-6-ol (トコフェロール)
2-Ethoxy-6,9-diaminoacridine monolactate monohydrate
(アクリノール水和物)
1,5-Dimethyl-2-phenyl-1,2-dihydro-3*H*-pyrazol-3-one
(アンチピリン)
6-(1-Methyl-4-nitro-1*H*-imidazol-5-ylthio)purine
(アザチオプリン)
Piperazine hexanedioate (ピペラジニアジピン酸塩)
[1-(4-Chlorobenzoyl)-5-methoxy-2-methyl-1*H*-indol-3-yl]acetic acid (インドメタシン)